

2011 年度報告書（研究員）

氏 名	福浦 一男
職 位	研究員
研究概要	
<p>本年度は、北タイ、チェンマイの精霊崇拝と霊媒術に関する研究報告を国際ジャーナルと国際学会にて行った。論文“A Ritual Community: The Religious Practices of Spirit Mediums Who Worship the Spirit of the Chiang Mai City Pillar” (<i>SOJOURN: Journal of Social Issues in Southeast Asia</i> 26 (1)) では、東南アジア大陸部の初期の国家形態である都市国家「ムアン」(<i>muang</i>) の王権と宗教権力が収斂する「都市の柱」(<i>lak muang</i>) とその守護精霊崇拝が現代の霊媒たちによっていかに復興されているかを解き明かした。</p> <p>国際学会での発表はつぎの通りである。“Intrinsic Power and Collectivity: The Religious Practices of Spirit Mediums who Worship the Spirit of the Chiang Mai City Pillar” (The 11th International Conference on Thai Studies) この発表では、霊媒たちの集合性に焦点を当て、彼らがどのように現地の文化実践を通じた儀礼コミュニティを構築しているのかを解明した。</p> <p>さらに、北タイの宗教研究に加えて、本年度は 2010 年以来、誰の目にも明らかとなったタイ社会の社会変動に関する予備的研究を行った。バンコク都と地方との関係が旧来の枠組みでは理解できなくなっているという現実を踏まえた上で、タイにおける民主主義のゆくえ、農村域における資本主義経済と日常生活の現状などに焦点を当てたものである。これは、北タイの地域住民の政治経済意識に関する地域社会学を次年度に実行するためのファーストステップである。</p>	
業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）	

